西諸広域行政事務組合消防本部の概要

総　務　編

消 防 の 沿 革

昭和45年、国の広域行政推進の一環により、昭和45年10月１日小林・えびの・西諸広域市町村圏協議会が発足し、広域市町村基本構想、基本計画（昭和46年～昭和55年の10か年）が示され、共同処理事務として消防防災救急体制等が打ち出された。これに基づき、昭和46年7月28日西諸広域行政事務組合が発足し、広域事務がスタートを切った。

消防については、圏域内で常備体制をとっていたのは小林市のみで、他の市町村は非常備消防団として運営していたが社会情勢の推移に伴い、災害の複雑多岐・多様化・大規模化と地域住民の過疎による消防力の不足、一方災害の防除に対し専門的技術の必要性及び救急業務の処理等消防行政の専門化、広域化そして常備化の必要から、昭和47年10月26日付けで共同処理事務に消防業務が加えられ、西諸広域行政事務組合消防本部が発足することとなった。

平成25年度緊急防災・減災事業として、広域訓練拠点施設・緊急避難場所・救急研修室（救護所）・備蓄倉庫等を兼ね備えた災害支援拠点施設が完成し、平成26年5月12日から運用されることとなった。

昭和47.10.26	小林市、えびの市、高原町、野尻町、須木村の2市2町1村で、西諸広域行政事務組消防本部が発足。 小林市に消防本部(庶務係・予防係)及び中央消防署、高原町に中央消防署南分遣所、野尻町に中央消防署東分遣所、須木村に中央消防署北分遣所、えびの市に西消防署を設置、前小林市消防職員29名を派遣職員として、消防本部及び中央消防署に配属し実働に入る。 窪谷達郎氏が消防長心得に就任
11.1	消防職員34名採用、消防本部に警防係を設置し庶務係、予防係の3係となる。
昭和48. 3. 1	消防職員1名採用
3.25	水槽付消防ポンプ自動車（水1．5t積載）2台購入、西消防署と中央消防署南分遣所に配置、救急車1台購入西消防署に配置
3.31	中央消防署南分遣所庁舎、同東分遣所庁舎が完成
4. 1	消防本部9名、中央消防署22名、同南分遣所8名、同東分遣所5名、西消防署14名で(西消防署は庁舎未完成のため、えびの市役所庁舎の一部を仮庁舎として)実働に入る。
4. 5	窪谷達郎消防長心得が中央消防署長となる。 新留時盛氏消防長就任、派遣職員4名小林市へ復帰、消防職員3名採用
4.15	中央消防署北分遣所庁舎が完成し、中央消防署の予備車を配置し消防職員4名で実働に入る。
4.20	消防職員9名採用
4.28	連絡車（軽ライトバン）購入、消防本部に配置
5. 4	消防職員1名採用
5.19	派遣職員4名小林市へ復帰
6. 4	消防職員4名採用
6. 6	西消防署庁舎が完成
6.16	宮崎県農協共済組合連合会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置
7. 2	消防職員6名採用
7. 6	消防職員1名退職

8. 2	派遣職員3名小林市へ復帰
9. 1	消防職員4名採用
10.11	派遣職員4名小林市へ復帰
10.15	消防職員1名採用
11. 2	消防ポンプ自動車購入、西消防署に配置
12.25	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、中央消防署東分遣所・同北分遣所に配置
昭和49. 3. 11	消防職員3名採用
5. 7	派遣職員7名小林市へ復帰
5. 1	消防職員5名採用
10. 1	消防職員2名採用
昭和50. 1. 8	派遣職員1名小林市へ復帰
1. 9	消防職員1名採用
5.27	連絡車(軽ライトバン)2台購入、西消防署及び中央消防署東分遣所に配置
5.31	新留時盛消防長退職
6. 1	窪谷達郎氏中央消防署長兼消防長心得となる
7. 1	派遣職員1名小林市へ復帰、小林市から1名派遣
昭和51. 3. 6	高速道路供用開始に伴う高速道路救急業務開始
7. 1	連絡車(軽ライトバン)2台購入、中央消防署南分遣所及び同北分遣所に配置
9.11	日本船舶振興会から救急車1台寄贈、中央消防署南分遣所に配置
10. 1	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(A-1級)1台寄贈、西消防署に配置 旧消防ポンプ自動車をえびの市消防団第1分団第7部へ移管
12. 6	消防本部並びに中央消防署庁舎用地購入(5,860㎡) (住所)小林市大字真方493番地
12.16	水槽付消防ポンプ自動車(A-2級2t積載)1台購入、中央消防署に配置 消防専用無線機購入、車載携帯兼用10W4基　西消防署、各分遣所の査察広報車に搭載
昭和52. 3. 3	消防職員1名退職
5.16	消防職員7名採用
10.25	消防本部及び中央消防署庁舎の建設工事着工
11. 1	派遣職員5名、派遣を解き西諸広域行政事務組合消防職員に任命
昭和53. 2. 28	消防職員1名退職
3.25	消防本部及び中央消防署庁舎が完成(延1,063.971㎡)
4. 1	消防職員1名採用
昭和54. 2. 20	窪谷達郎消防長心得が消防長となる
4. 5	派遣職員1名小林市へ復帰
6.25	連絡車購入、消防本部へ配置
昭和55. 5. 19	消防職員2名採用
10.15	指令車購入、消防本部へ配置
昭和56. 3. 17	高原町～都城市間高速道路供用開始に伴い、同区間の救急業務開始
5.21	消防職員1名採用
6. 1	消防職員1名退職
9.25	日本消防協会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置

9.26	えびの市～鹿児島県栗野町間の高速道路供用開始に伴い、同区間の救急業務開始
昭和57. 3. 31	窪谷達郎消防長定年退職
4. 1	別府鉄朗小林市助役が消防長事務取扱者を兼任
4.19	宮崎県共済農業協同組合連合会から救急車2台寄贈 西消防署と中央消防署南分遣所に配置 中央消防署南分遣所の旧救急車を中央消防署に配置
11. 2	消防職員1名退職
昭和58. 4. 25	森祐一郎小林市長が消防長事務取扱者を兼任
7. 1	松田利夫氏が小林市から消防長心得として出向
昭和59. 2. 1	消防職員1名採用
7. 1	消防本部査察広報車(予防車)購入
10.29	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ)購入、中央消防署に配置
昭和60. 4. 1	松田利夫消防長心得が消防長となる
8.31	消防職員1名退職
12. 2	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)購入、中央消防署北分遣所に配置
12.24	大口市外三町消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
昭和61. 1. 26	松田利夫消防長小林市へ復帰
1.27	中山藤作氏が小林市から消防長として出向
3. 2	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を2台更新、西消防署と中央消防署南分遣所に配置
4. 1	熊本県上球磨消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
4.18	宮崎県共済農業協同組合連合会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置
5. 1	消防職員1名採用
7. 1	査察広報車2台購入(1,800cc)、中央消防署南分遣所・中央消防署北分遣所に配置
7.24	人吉下球磨消防組合と消防・救急業務相互応援協定締結
7.31	査察広報車2台購入(1,800cc)、西消防署・中央消防署東分遣所に配置
12.26	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)更新、中央消防署東分遣所に配置
昭和62. 5. 4	消防職員1名退職
6. 3	中山藤作消防長小林市へ復帰
7. 1	角井勇消防本部次長が消防長に就任
昭和63. 3. 31	角井勇消防長退職
4. 1	内竹孝雄氏が小林市から消防長心得として出向、消防職員2名採用
9. 9	西諸・えびの地区遊技場組合から救急車1台寄贈、西消防署へ配置
平成 1. 3. 27	救急車更新、中央消防署南分遣所に配置
8. 1	内竹孝雄消防長心得が消防長となる
10. 4	査察広報2号車1台購入、消防本部に配置
11. 3	消防職員1名退職
12. 8	消防ポンプ自動車(BD-1型)更新、西消防署に配置
12.26	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)更新、中央消防署に配置
平成 2. 1. 1	消防職員1名採用
3.15	救助工作車購入
3.31	消防職員2名退職
4. 1	消防職員2名採用

平成 3. 3. 31	救急車更新、中央消防署に配置
8.23	日本消防協会から救急車1台寄贈、中央消防署に配置
平成 4. 2. 29	指令車更新、消防本部に配置
3.31	内竹孝雄消防長小林市に復帰。消防職員1名定年退職
4. 1	清水常喜消防本部次長が消防長となる。消防職員3名採用
9. 1	消防職員1名採用
11.19	消防職員1名退職
平成 5. 4. 1	消防職員5名採用
10.15	中央消防署南分遣所改築工事着工（7工区）
10.26	西諸広域行政事務組合消防設立20周年式典
平成 6. 2. 15	組合規約の改正により「理事会」となる
3. 2	中央消防署南分遣所改築工事が完了「鉄骨造、2階建」
	仮眠室の個室化（延床面積732.2㎡）
3.29	救急車更新、西消防署に配置
3.31	清水常喜消防長定年退職
4. 1	山下末男消防本部次長が消防長となる。消防職員5名採用
12. 2	消防本部査察広報車（予防車更新）
平成 7. 4. 1	消防職員5名採用
4.17	宮崎県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈、中央消防署南分遣所に配置
	旧南分遣所の救急車を高原町立病院へ移管
4.25	組合規約の改正により議員定数12名となる
7.24	高速自動車国道の加久藤トンネル開通に伴う、えびの・人吉市間の救急業務供用開始
12. 8	高規格救急自動車購入、中央消防署に配置
平成 8. 4. 1	消防職員2名採用
平成 9. 1. 22	査察広報車5台更新（中央・西消防署、南・東・北分遣所に配置）
3.31	山下末男消防長退職
4. 1	鵜野富吉消防本部次長が消防長となる。消防職員7名採用
10.28	中央消防署東分遣所庁舎移転新築工事の着工
12.22	消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配置
	高規格救急自動車購入、西消防署に配置
平成10. 3. 10	中央消防署東分遣所移転新築工事が完了
	仮眠室の個室化「鉄骨造、一部2階建」（床延面積761.0㎡）
4. 1	救急自動車（救西1）を中央消防署東分遣所に配置
	小林西諸パチンコ遊技場組合から査察広報車1台寄贈、消防本部に配置
12. 1	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署北分遣所に配置
平成11. 3. 1	高規格救急自動車購入、中央消防署東分遣所に配置
3.31	鵜野富吉消防長退職。消防職員1名退職
4. 1	鵜木義幸氏が小林市から消防長心得として出向
	消防本部組織改正により3係制（庶務係・警防係・予防係）を2課制へ（総務課・予防課）
	中央消防署を除く各署所を設置先市町村名に改名（えびの消防署・高原分遣所・野尻

分遣所・須木分遣所）
消防職員1名採用
6. 3　高規格救急自動車購入、中央消防署高原分遣所に配置
8. 2　水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、えびの消防署に配置
11.11　中央消防署須木分遣所庁舎移転新築工事の着工
平成12. 3. 25　中央消防署須木分遣所庁舎移転新築工事が完了
仮眠室の個室化「鉄骨造、平屋建」（床延面積442.54㎡）
7.26　水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署野尻分遣所に配置
8. 8　えびの消防署庁舎移転新築工事の着工
12.15　消防ポンプ自動車（CD－1型）更新、えびの消防署に配置
平成13. 2. 21　えびの消防署庁舎移転新築工事が完了
仮眠室の個室化「鉄骨造、2階建」（床延べ面積832.2㎡）
4. 1　鵜木義幸消防長心得が消防長となる。
9. 2　中央消防署庁舎の増改築及び改修工事の着工
12.18　水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署高原分遣所に配置
平成14. 3. 20　中央消防署庁舎の増改築及び改修工事が完了
仮眠室の個室化「鉄骨造、2階建及び既存庁舎の改修」
（床面積387.52㎡、延床面積1,421.49㎡）
3.31　鵜木義幸消防長が小林市に復帰。事務吏員1名退職
4. 1　貴嶋俊介消防本部次長が消防長となる。消防職員2名採用
9. 9　消防本部・中央消防署庁舎の防水及び外壁塗替え工事着工
11.27　消防本部・中央消防署庁舎の防水及び外壁塗替え工事完了
12.24　水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署に配置
平成15. 1. 31　消防職員1名退職
4. 1　西諸広域行政事務組合職員定数条例一部改正により消防職員定数を109名から126名に改正（平準化）
消防職員1名採用
9. 1　中央消防署須木分遣所の救急車配置に伴い高原分遣所・野尻分遣所から各2名異動
9.11　救急自動車新規購入、中央消防署須木分遣所に配置　救急業務運用開始
平成16. 2. 23　救助工作車更新（Ⅱ型）、中央消防署に配置
4. 1　消防職員4名採用（平準化）
10. 1　宮崎県防災救急ヘリ航空隊発足により隊員1名派遣
平成17. 2. 7　寄贈高規格救急自動車更新、中央消防署に配置
4. 1　消防職員4名採用（平準化）
10.17　救助訓練塔起工式
平成18. 3. 15　救助訓練塔完成
3. 2　小林市と須木村が合併し新小林市誕生
1.31　消防職員1名退職

4. 1　消防職員4名採用（平準化）
セパレート型防火服採用
6. 3　消防職員1名退職
10. 2　中央消防署食堂改修工事終了

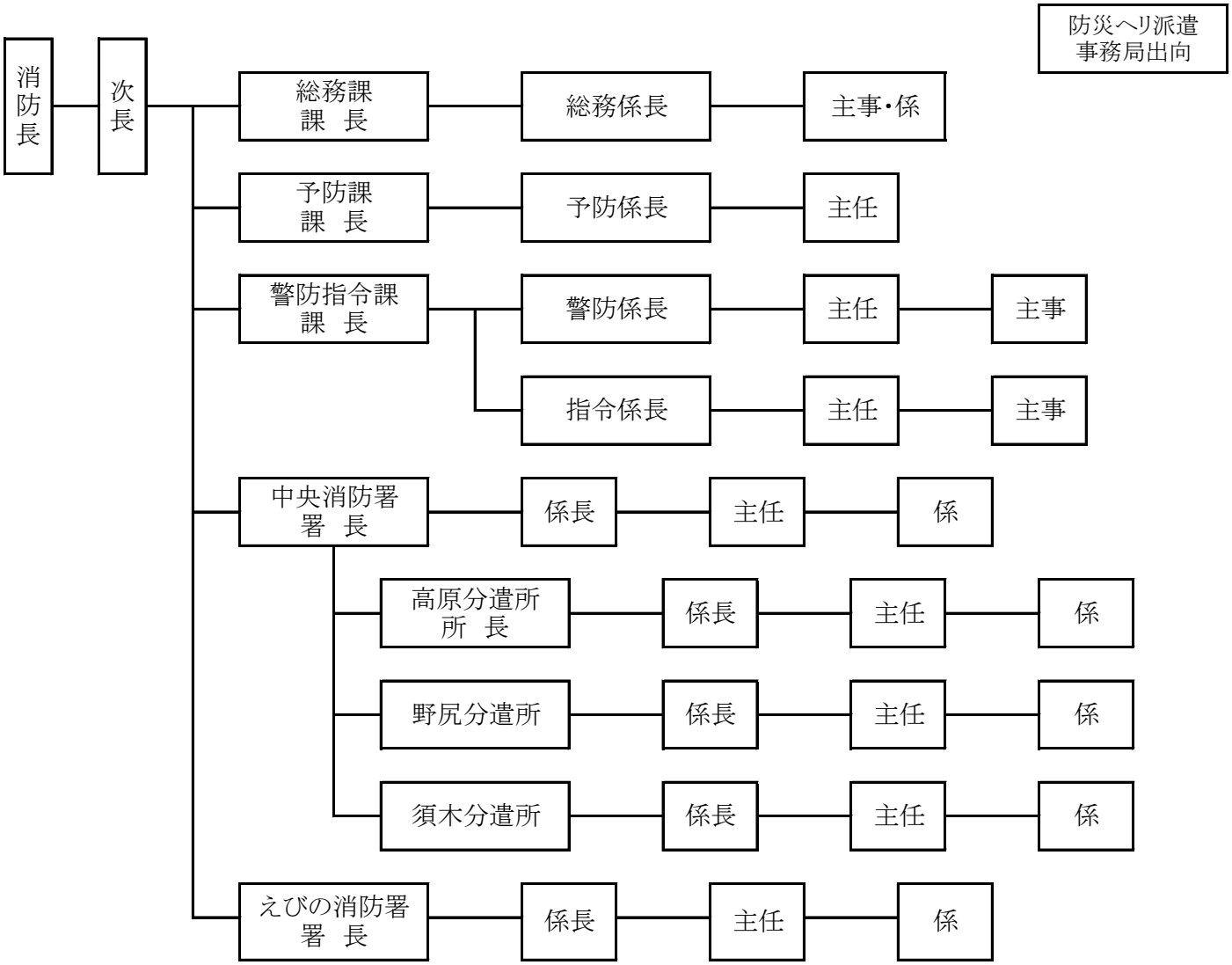
平成19. 3. 31　消防職員1名退職
3.31　宮崎県防災救急ヘリ航空隊員1名、前任者と交替派遣
4. 1　隔日勤務組織改革(係制)
消防職員4名採用(平準化)
10. 2　消防本部・中央消防署公共下水道接続工事終了
10. 4　消防職員1名退職
11.15　高規格救急車更新、えびの消防署に配置
12.14　多目的資機材搬送車購入、中央消防署に配置
12.17　野尻分遣所公共下水道接続工事終了
平成20. 3. 31　消防職員4名退職
4. 1　消防職員4名採用(平準化)
7. 4　大淀川左岸地区かんがい用水施設(野尻町区域分)の使用等に関する管理協定書締結
8. 4　消防本部空調設備改修工事完了
平成21. 3. 31　消防職員8名退職
4. 1　消防職員5名採用(平準化)
11. 1　災害対応特殊消防ポンプ自動車更新　中央消防署に配置
12. 1　災害対応特殊救急自動車更新　中央消防署に配置
12.25　岩下兄弟株式会社より消防用広報車寄贈　消防本部に配置
平成22. 3. 23　小林市と野尻町が合併し新小林市誕生
1.26　消防職員1名退職
3.31　消防職員6名退職
4. 1　原田利男消防本部次長が消防長となる。消防職員6名採用(平準化)
6. 1　高機能消防指令センター総合整備事業の着工
11.16　消防本部指令室等改築工事終了
12.15　査察広報車更新、えびの消防署に配置
12.31　消防職員1名退職
平成23. 3. 1　高機能消防指令センター運用開始
3.11　東日本大震災「M9．0　震度7」
3.14　緊急消防援助隊宮崎県隊として車両2台、隊員8名の2隊を派遣
3.31　消防職員5名退職
4. 1　里岡弘幸消防本部次長が消防長となる。消防職員10名採用(平準化)
9.12　野尻分遣所地上消火栓・庁舎浴室給水栓取替工事完了
消防本部救急救助訓練塔壁板張替工事完了
平成24. 4. 1　柚木脇充消防本部警防指令課課長が消防長となる。
消防職員6名採用(平準化)
4. 1　消防職員1名退職

4. 2　消防救急デジタル無線システム工事の着工
10.25　高規格救急自動車更新、野尻分遣所に配置
11.28　査察広報車更新、高原分遣所に配置
平成25. 3. 18　消防救急デジタル無線システム工事完了
3.29　JA共済連合会宮崎から高規格救急自動車1台寄贈、中央消防署に配置

3.31	消防職員4名退職
3.31	宮崎県防災救急ヘリ航空隊員1名、前任者と交替派遣
4. 1	野間和則消防本部警防指令課課長が消防長となる。
	消防職員7名採用（平準化）
6.26	西諸広域行政事務組合災害支援拠点施設の建設、消防本部改修工事着工
7. 1	資機材搬送車を購入、えびの消防署に配置
9.26	消防本部予防車更新
平成26. 1. 9	査察広報車更新、中央消防署に配置
1.22	消防職員1名退職
3. 7	高規格救急自動車更新、高原分遣所に配置
3.31	査察広報車2台更新、野尻分遣所・須木分遣所に配置
	消防職員5名退職
4. 1	消防職員4名採用（平準化）
4. 3	西諸広域行政事務組合災害支援拠点施設完成
	（鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建、延べ面積1,061㎡）
5.12	西諸広域行政事務組合災害支援拠点施設2階事務室に消防本部及び事務局を移転
7.22	消防本部改修工事完了（2階：仮眠室、会議室、食堂）
11. 1	消防職員1名退職
平成27. 1. 21	消防職員1名退職
1.28	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、えびの消防署に配置
3.31	消防職員8名退職
4. 1	消防職員8名採用
平成28. 3. 1	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、中央消防署に配置
	高規格救急自動車更新、えびの消防署に配置
3.31	消防職員6名退職
	宮崎県防災救急ヘリ航空隊員1名、前任者と交替派遣
4. 1	木佐貫幸男消防本部警防指令課課長が消防長となる。
	消防職員6名採用
4.14	熊本地震「前震：M6．5　震度7」
4.15	緊急消防援助隊宮崎県隊として車両2台、隊員7名の2隊を派遣
	※緊急消防援助隊宮崎県隊として熊本市及び南阿蘇町に延べ31名（期間：4.15～4.26）
4.16	熊本地震「本震：M7．3　震度7」
平成29. 2. 7	消防ポンプ自動車更新、えびの消防署に配置
3. 1	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）更新、須木分遣所に配置
3.31	消防職員2名退職
4. 1	消防職員5名採用
7. 5	平成29年九州北部豪雨
	緊急消防援助隊宮崎県隊として中津市及び日田市に消火小隊、後方支援小隊の2隊延べ10名を派遣
10.11	新燃岳が6年ぶりに噴火
11. 3	高原分遣所外壁改修工事完了

平成30. 3. 22	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)更新、高原分遣所に配置
3.31	消防職員3名退職
4. 1	消防職員2名採用
5.21	えびの消防署会議室空調機設置工事完了
6. 1	消防本部総務連絡車更新
7.18	えびの消防署車庫内ロッカー設置工事完了
11.19	高原分遣所会議室及び仮眠室空調機取替工事完了

消防の組織と配置職員数



（消防本部・各署所の人員）

区分＼署所	消防本部	中央消防署	えびの消防署	高原分遣所	野尻分遣所	須木分遣所	宮崎県防災救急ヘリ	事務局出向	合　計
人員	23	33	23	17	10	10	1	1	118

※次長は総務課長を兼務
※中央消防署長は野尻分遣所長及び須木分遣所長を兼務

（消防職員階級別配置表）

署所＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	合　計
消防本部	1		4	3	8		8	1	25
中央消防署			1	3	14	1	14		33
えびの消防署			1	2	8		12		23
高原分遣所			1	2	5	1	8		17
野尻分遣所				2	3		5		10
須木分遣所				1	4		5		10
計	1	0	7	13	42	2	52	1	118

※消防本部の合計25名のうち、1名は防災救急ヘリ派遣、1名は事務局へ出向中。

消防本部及び署所の事務分掌

総 務 課

1. 消防予算の編成及び執行に関すること。
2. 補助金等の編成及び執行に関すること。
3. 公印の管理に関すること。
4. 職員の人事給与事務及び表彰に関すること。
5. 職員の勤務条件・福利厚生及び労働安全衛生に関すること。
6. 公務災害補償等に関すること。
7. 消防職員委員会に関すること。
8. 文書の収受、発送及び保存に関すること。
9. 消防手数料に関すること。
10. 消防の財産に関すること。
11. 条例、規則及び訓令等の制定又は改正に関すること。
12. 総務関係の統計調査に関すること。
13. 消防年報に関すること。
14. 消防広報に関すること。
15. 職員の教育及び研修に関すること。
16. 他の課に属さない業務に関すること。

警 防 指 令 課

1. 火災、救急、救助その他災害出動の指令業務に関すること。
2. 消防通信施設等の維持管理に関すること。
3. 気象情報の受理及び火災警報の発令に関すること。
4. 車両及び機械器具の購入並びに維持管理に関すること。
5. 各種災害時に関係機関との連絡調整に関すること。
6. 緊急援助隊等の相互応援協定に関すること。
7. 消防団員の訓練指導に関すること。
8. 警防計画の作成に関すること。
9. 火災防御訓練等に関すること。
10. 消防水利の調査保全に関すること。
11. 救急及び救助事務に関すること。
12. 応急手当の普及啓発活動に関すること。
13. 警防関係の統計調査に関すること。
14. その他警防業務に関すること。

予 防 課

1. 防火対象物の査察及び火災予防の指導に関すること。
2. 消防用設備等の設置検査に関すること。
3. 火災予防思想の普及及び啓発に関すること。
4. 防火管理者講習に関すること。
5. 建築確認申請に関すること。
6. 危険物施設の査察及び火災予防の指導に関すること。
7. 危険物の許認可及び取り締まりに関すること。
8. 危険物取扱者の安全教育に関すること。
9. 液化石油ガス及び火薬施設の保全確保に関すること。
10. 煙火の消費許可に関すること。
11. 火災原因及び損害の調査報告に関すること。
12. 予防関係の統計調査に関すること。
13. その他予防業務に関すること。

消 防 署

1 庶 務 係

（1） 公印の管理に関すること。

（2） 届出及び証明に関する事務並びに文書の収受、発送及び整理保存に関すること。

（3） 消防手数料に関すること。

（4） 諸手当の集計に関すること。

（5） 消防団との連絡調整に関すること。

（6） 消防施設及び機械器具等の維持管理に関すること。

（7） その他署長が命令する事項。

2 救急救助係

（1） 救急救助業務の企画に関すること。

（2） 救急救助装備、資機材整備に関すること。

（3） 救助技術の研究及び訓練に関すること。

（4） 救急救命講習等の普及啓蒙に関すること。

（5） 救急救助に関する統計に関すること。

（6） その他署長が命令する事項。

3 予防調査係

（1） 火災調査及び火災統計に関すること。

（2） 防火対象物の調査及び指導並びに違反処理に関すること。

（3） 火災予防条例に規定に伴う調査及び指導に関すること。

（4） 消防に関する調査研究、その他各種事故等の調査に関すること。

（5） その他署長が命令する事項。

分 遣 所

1 消 防 係

（1） 公印の管理に関すること。

（2） 届出及び証明に関する事務並びに文書の収受、発送及び整理保存に関すること。

（3） 消防手数料に関すること。

（4） 諸手当の集計に関すること。

（5） 消防団との連絡調整に関すること。

（6） 消防施設及び機械器具等の維持管理に関すること。

（7） 救急救助業務の企画に関すること。

（8） 救急救助装備、資機材整備に関すること。

（9） 救助技術の研究及び訓練に関すること。

（10） 救急救命講習等の普及啓蒙に関すること。

（11） 救急救助に関する統計に関すること。

（12） 火災調査及び火災統計に関すること。

（13） 防火対象物の調査及び指導並びに違反処理に関すること。

（14） 火災予防条例に規定に伴う調査及び指導に関すること。

（15） 消防に関する調査研究、その他各種事故等の調査に関すること。

（16） その他署長が命令する事項。

常備消防構成団体

市 町 名	市町長名	市町庁舎所在地
小 林 市	宮原 義久	小林市細野300番地
えびの市	村岡 隆明	えびの市大字栗下1292番地
高 原 町	高妻 経信	西諸県郡高原町大字西麓899番地

消防本部及び署(所)の名称・位置・管轄区域

名 称	位 置	管轄区域
消 防 本 部	小林市真方493番地	
中央消防署	小林市真方493番地	小林市・高原町
高原分遣所	西諸県郡高原町大字西麓174番地	高原町全域
野尻分遣所	小林市野尻町東麓1147番地1	小林市野尻町全域
須木分遣所	小林市須木中原1696番地16	小林市須木全域
えびの消防署	えびの市大字大明司863番地1	えびの市

※高速自動車国道(九州自動車道及び宮崎自動車道)の管轄区域については、救急救助編に記載

消防車・消防職員等に対する人口等の割合

区 分	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
職員1人当たり (消防吏員117名)	641.53	273.33	7.96
消防自動車1台当たり (消防自動車7台)	10,722.71	273.33	133.04
救急車1台当たり (救急自動車6台)	12,509.83	5,330.00	155.21
署所1か所当たり (署所数5)	15,011.80	6,396.00	186.25

※人口及び世帯数は平成27年国勢調査の数値、面積は本圏域931.27㎢

消防庁舎の概要

消防本部（災害支援拠点施設）・中央消防署



① 消防本部（災害支援拠点施設）



② 中央消防署

所在地	竣工年度	構　造	延床面積	敷地面積
小林市真方493番地	① 平成26年度	RC3階建一部鉄骨造	1,061.51	5,689.97
	② 昭和52年度	鉄筋コンクリート造 2階建PH付 一部鉄骨造	1,421.49	

えびの消防署





仮眠室

所在地	竣工年度	構　造	延床面積	敷地面積
えびの市大字大明司863番地1	平成12年度	鉄骨造2階建	832.20	3,854.00

高原分遣所





仮眠室

所在地	竣工年度	構　造	延床面積	敷地面積
西諸県郡 高原町大字西麓174番地	平成5年度	鉄骨造2階建	732.20	1,559.72

野尻分遣所





仮眠室

所在地	竣工年度	構　造	延床面積	敷地面積
小林市野尻町東麓1147番地1	平成9年度	鉄骨造2階建	761.00	1,953.25

須木分遣所

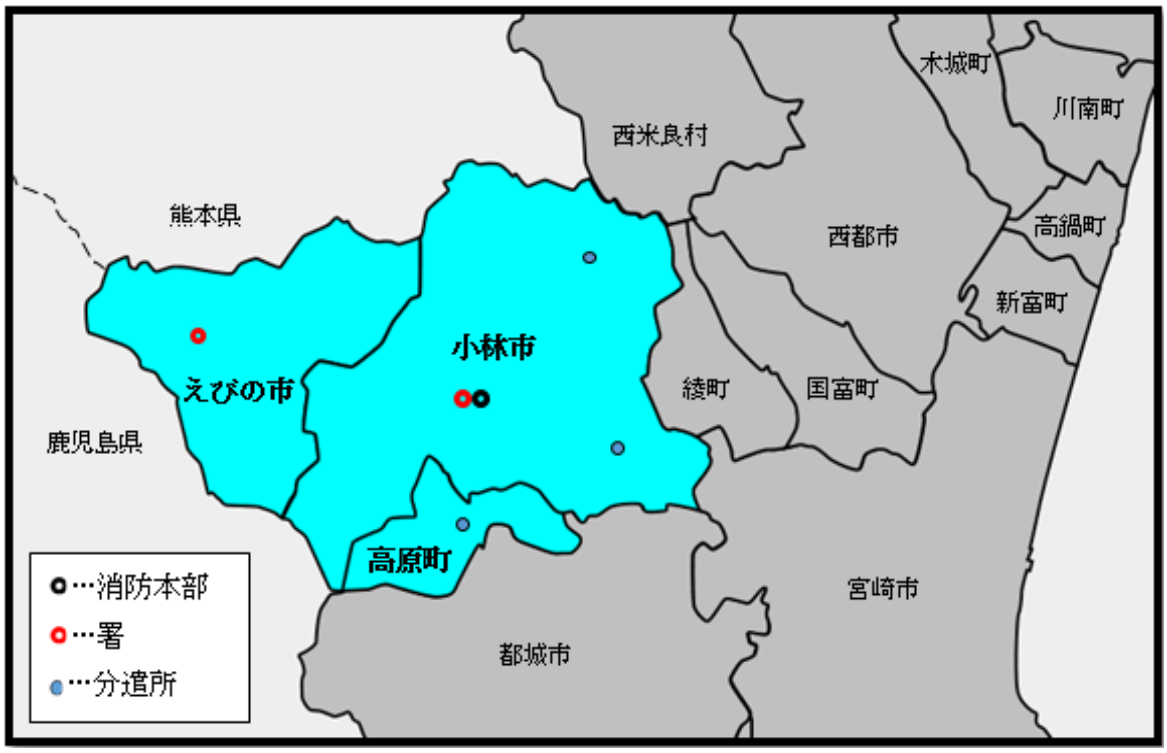




仮眠室

所在地	竣工年度	構　造	延床面積	敷地面積
小林市須木中原1696番地16	平成11年度	鉄骨造平屋建	442.54	1,081.40

西諸広域行政事務組合消防本部管内図



消防費歳入当初予算の比較

（単位:千円）

款	節	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
分担金及び負担金	消防費負担金	913,210	949,985	936,954	-13,031
使用料及び手数料	消防使用料・消防手数料	591	532	532	0
国庫支出金	消防費国庫補助金	0	0	0	0
県支出金	消防費県補助金	0	0	1	1
財産収入	利子及び配当金	2	2	2	0
繰入金	消防施設等整備基金繰入金	0	0	0	0
諸収入	雑入	26,744	26,736	24,092	-2,644
組合債	消防・防災施設事業	0	0	0	0
合計		940,547	977,255	961,581	-15,674

消防費歳出当初予算の比較

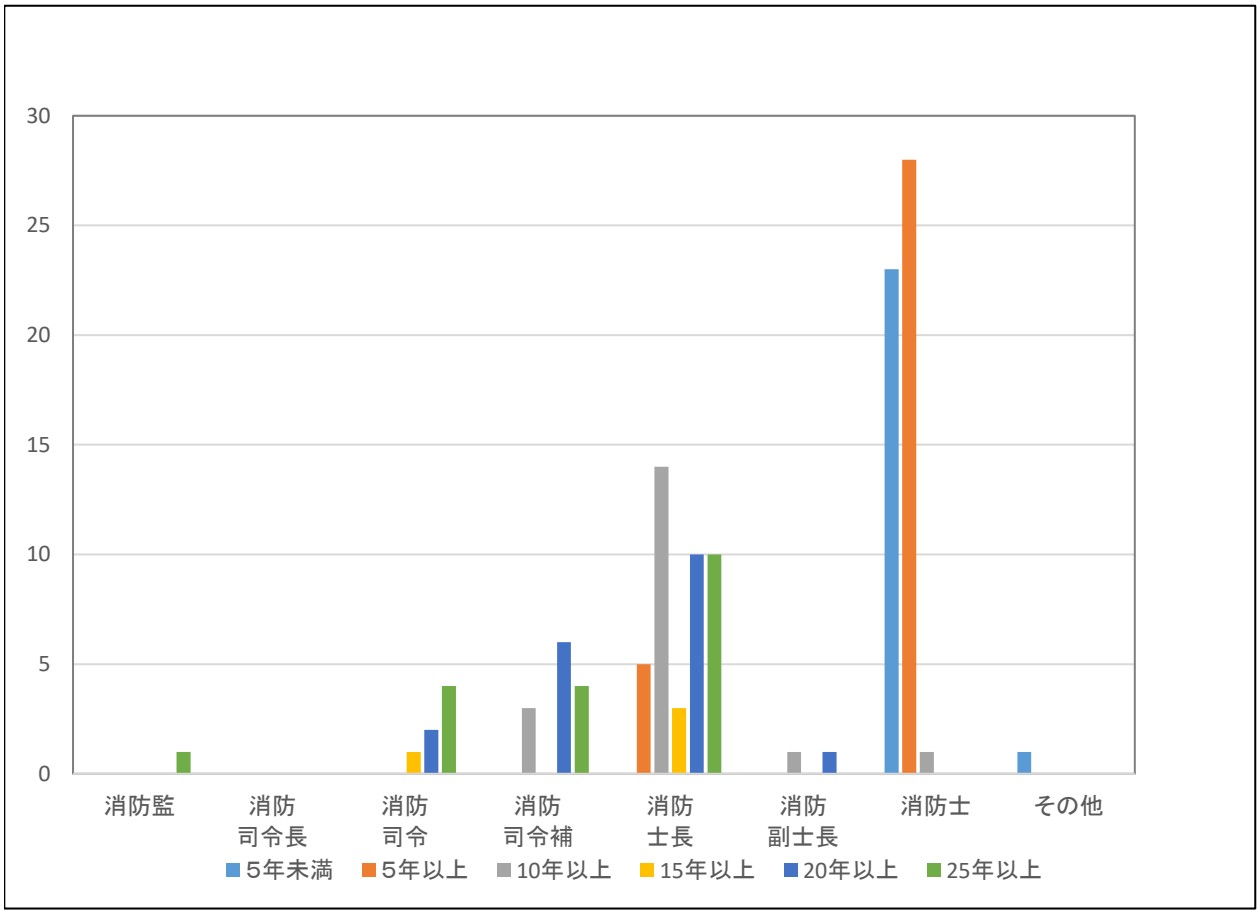
（単位:千円）

款項目	節	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
消防費		940,547	977,255	961,581	-15,674
常備消防費		921,663	971,328	953,463	-17,865
	報酬	0	0	0	0
	給料	351,633	367,416	370,511	3,095
	職員手当等	253,395	266,074	284,899	18,825
	共済費	123,991	126,959	133,906	6,947
	報償費	70	100	110	10
	旅費	5,917	6,385	5,350	-1,035
	需用費	36,958	38,212	38,826	614
	役務費	14,995	17,069	14,844	-2,225
	委託料	23,642	23,858	23,888	30
	使用料及び賃借料	8,001	6,621	8,315	1,694
	原材料費	100	200	210	10
	備品購入費	92,414	106,787	64,658	-42,129
	負担金補助及び交付金	7,635	7,538	6,301	-1,237
	補償補填及び交付金	1	1	1	0
	償還金、利子及び割引金	2,307	3,294	1,064	-2,230
	積立金	1	1	1	0
	公課費	603	773	579	-194
消防施設費		18,884	5,927	8,118	2,191
	需用費	4,148	3,000	2,500	-500
	役務費	627	972	997	25
	委託料	2,029	1,954	1,935	-19
	使用料及び賃借料	0	0	0	0
	工事請負費	11,504	0	2,685	2,685
	備品購入費	575	0	0	0
	積立金	1	1	1	0
	積立金	1	1		

消防吏員階級別勤務年数表

平成30年12月31日現在

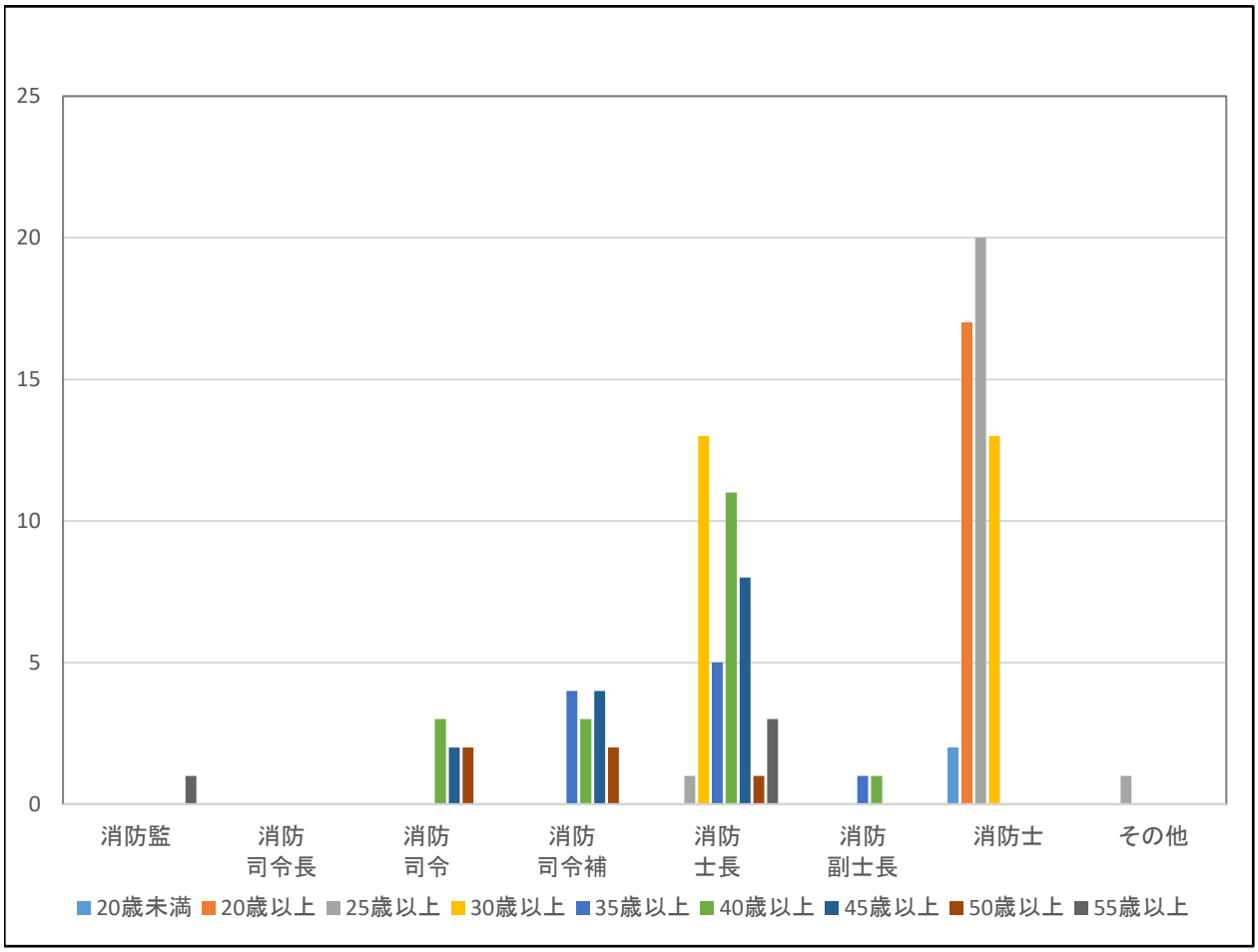
区別＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	合計
5年未満							23	1	24
5年以上					5		28		33
10年以上				3	14	1	1		19
15年以上			1		3				4
20年以上			2	6	10	1			19
25年以上	1		4	4	10				19
計	1		7	13	42	2	52	1	118



消防吏員階級別年齢表

平成30年12月31日

区別＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	合計
20歳未満							2		2
20歳以上							17		17
25歳以上					1		20	1	22
30歳以上					13		13		26
35歳以上				4	5	1			10
40歳以上			3	3	11	1			18
45歳以上			2	4	8				14
50歳以上			2	2	1				5
55歳以上	1				3				4
計	1		7	13	42	2	52	1	118
平均年齢	60		46.3	43.5	39.7	39.5	26.3	25	34.6



歴代消防長(事務取扱者含む)

消防長名	就任年月日	退任年月日	備　　考
窪谷　達郎	昭和 47年10月26日	昭和48年　4月　4日	消防長心得
新留時盛	昭和48年　4月　5日	昭和50年　5月31日	消　防　長
窪谷達郎	昭和50年　6月　1日	昭和54年　2月19日	中央消防署長 兼消防長心得
窪谷達郎	昭和54年　2月20日	昭和57年　3月31日	消　防　長
別府鉄朗	昭和57年　4月　1日	昭和58年　4月24日	消防長事務取扱
森　祐一郎	昭和58年　4月25日	昭和58年　6月30日	消防長事務取扱
松田利夫	昭和58年　7月　1日	昭和60年　3月31日	消防長心得
松田利夫	昭和60年　4月　1日	昭和61年　1月26日	消　防　長
中山藤作	昭和61年　1月27日	昭和62年　6月30日	消　防　長
角井　勇	昭和62年　7月　1日	昭和63年　3月31日	消　防　長
内竹孝雄	昭和63年　4月　1日	平成 元年　7月31日	消防長心得
内竹孝雄	平成 元年　8月　1日	平成　4年　3月31日	消　防　長
清水常喜	平成　4年　4月　1日	平成　6年　3月31日	消　防　長
山下末男	平成　6年　4月　1日	平成　9年　3月31日	消　防　長
鷗野富吉	平成　9年　4月　1日	平成11年　3月31日	消　防　長
鵜木義幸	平成11年　4月　1日	平成13年　3月31日	消防長心得
鵜木義幸	平成13年　4月　1日	平成14年　3月31日	消　防　長
貴嶋俊介	平成14年　4月　1日	平成22年　3月31日	消　防　長
原田利男	平成22年　4月　1日	平成23年　3月31日	消　防　長
里岡弘幸	平成23年　4月　1日	平成24年　3月31日	消　防　長
柚木脇充	平成24年　4月　1日	平成25年　3月31日	消　防　長
野間和則	平成25年　4月　1日	平成28年　3月31日	消　防　長
木佐貫 幸男	平成28年　4月　1日	現在に至る	消　防　長